<大学病院輸血部門の教員に対する事前調査>

施設名と部門名：

回答された方のお名前：

メールアドレス：

該当する箇所を囲むか丸を付けて下さい。詳記が必要な場合、空いている箇所に記載して下さい。

5月31日（木）までに、川崎医科大学附属病院　輸血部（yuketsu@med.kawasaki-m.ac.jp）へ

メール返信をお願いします。

1．大学の輸血部門所属の教員についての質問です。

（１）貴大学病院の形態は、どれに該当しますか。

　　① 国立大学法人

　　　 本院

　　　 分院

　　② 公立大学法人

　　　 本院

　　　 分院

　　③ 私立大学法人

　　　 本院

　　　 分院

（２）貴大学医学部に輸血学または輸血学を含んだ講座はありますか。ある場合には、名称を記

　　　載して下さい。

① ある

　　　 ある場合は、講座の名称は：

② ない

　　　 ない場合は、病院での名称は：

2．病院の輸血部門と医師に対する卒後教育についての質問です。

（１）病院輸血部門の実務的な責任者である方にお尋ねします。

① 専従（業務の100％が輸血関連である）

② 専ら従事している（業務の80％以上が輸血関連である）

③ 専任（業務の50％以上が輸血関連である）

④ その他

（具体的に記載してください　　　　　％）

（２）卒後初期研修についてお尋ねします。

卒後初期研修のプログラムに輸血に関連する研修項目は含まれていますか。

① 含まれている

② 含まれていない

（３）卒後初期研修のプログラムに輸血に関連する研修項目が含まれている場合、

その形態は以下のどれに近いですか。

① 講義のみ（オリエンテーション講義を含む）

② 実習のみ

③ 講義＋実習

（４）卒後研修のプログラムに輸血に関連する研修項目が含まれている場合、教育に関わっているのは。

① 医師のみ

② 技師のみ

③ 医師＋技師

④ それ以外

（具体的に記載してください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（５）医師が卒後輸血教育に関わっている場合、医師の大学での所属は。

① 輸血学（あるいはそれに準ずる）講座

② 検査学（あるいはそれに準ずる）講座

③ 血液内科学（あるいはそれに準ずる）講座

④ その他

（具体的に記載してください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（６）技師が卒後輸血教育に関わっている場合、技師の所属は。

① 輸血部

② 検査部

③ 検査部//輸血室

④ その他

（具体的に記載してください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（７）卒後初期研修のプログラムに輸血に関連する研修項目が含まれている場合、

年間の教育に関わっているおおよその時間は。

①（　　　　時間　　　　分）

（８）卒後研修のプログラムに輸血に関連する研修項目が含まれていない場合、その理由は。

① 人員の問題

② その他

（自由に記載ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（９）初期研修医が一般病院ではなく、大学病院をマッチングで選択した場合、

特に輸血医療について有利な研修ができると考えますか。

　　① 一般病院での研修と変わらない

　　② 大学病院での研修が有利である

　　　（具体的に有利な点について記載してください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

3．平成24年度診療報酬改定に関する質問です。

算定している項目に、◯印を付けて下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成23年度まで | 平成24年度 |
| 輸血管理料Ⅰ |  |  |
| 輸血管理料Ⅱ |  |  |
| 輸血適正使用加算１ |  |  |
| 輸血適正使用加算２ |  |  |
| 血小板洗浄術加算 |  |  |
| 自己生体組織接着剤作成術 |  |  |

4．院内職員に対する卒後教育についての質問です。

（１）新人看護師に対して卒後教育を行っていますか。

1. 行っている
2. 行っていない（行っていない理由を記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）誰が新人看護師に卒後教育を行っていますか。複数回答可。

1. 医師
2. 臨床検査技師
3. 薬剤師
4. 看護師
5. その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）どのような方法で行っていますか。複数回答可。

1. 講義；教科書や参考図書、院内輸血マニュアル等を用いて
2. 実技；ABO型判定など
3. 見学；自己血貯血業務など
4. その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（４）貴院における自己血輸血の、のべ件数について記載ください。

　　　　　　　　　　（　　　　　　件/**平成23年**）

（５）自己血の採取に関わる看護師の、のべ人数は何人でしょうか。

① ０人

② １人

③ ２人

④ ３人

⑤ ４人以上

（６）そのうち学会認定・自己血輸血看護師（日本輸血・細胞治療学会/日本自己血輸血学会）の人数は

何人でしょうか。

① ０人

② １人

③ ２人

④ ３人

⑤ ４人以上

（７）輸血業務を担当する学会認定・輸血看護師（日本輸血・細胞治療学会）の人数は何人でしょうか。

① ０人

② １人

③ ２人

④ ３人

⑤ ４人以上

（８）学会認定・自己血輸血看護師や学会認定・輸血看護師がいる施設へお尋ねします。

学会認定看護師は、輸血教育に携わっていますか。複数回答可。

　　① 新人看護師への輸血教育

　　② 職員全体への輸血教育

　　③ 勤務する職場内での輸血教育

　　④ 看護学部（学科）での卒前輸血教育

　　⑤ 携わっていない

　　⑥ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（９）学会認定・自己血輸血看護師や学会認定・輸血看護師がいない施設へお尋ねします。

学会認定看護師を受験しなかった理由は何ですか。複数回答可。

　　① 候補者がいない

　　② 申請手続が煩雑

　　③ 受験費用が高額

　　④ 内容を熟知していなかった

　　⑤ 受験する意義が乏しい

　　⑥ 受験するインセンティブが乏しい

　　⑦ 資格を持つことにより仕事が増える

　　⑧ 資格を持つことにより仕事の専任化がいや

　　⑨ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（10）貴院は骨髄移植推進財団（骨髄バンク）の同種末梢血幹細胞採取の認定施設ですか。

① はい

② いいえ

③ 申請中ないしは申請予定

（11）貴院における末梢血幹細胞採取の、のべ件数について記載ください。

　　　　　　　　　　（　　　　　　件/**平成23年**）

（12）2010年に診療報酬が改定されて同種、自家ともに末梢血幹細胞採取に診療報酬を算定

できるようになりましたが採取件数は。

① 増えた

② 減った

③ 変化なし

（13）自家と血縁ドナーの末梢血幹細胞採取で機械の操作は誰が行っていますか。複数回答可。

　　① 学会認定・アフェレーシスナース（日本輸血・細胞治療学会）

　　② 臨床工学技士

　　③ 輸血部門の医師

　　④ 当該診療科の医師

　　⑤ 臨床検査技師

　　⑥ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（14）同種末梢血幹細胞採取の認定施設である場合、非血縁ドナーの末梢血幹細胞採取で機械の操作は

誰が行っていますか。複数回答可。

　　① 学会認定・アフェレーシスナース（日本輸血・細胞治療学会）

　　② 臨床工学技士

　　③ 輸血部門の医師

　　④ 当該診療科の医師

　　⑤ 臨床検査技師

　　⑥ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（15）学会認定・アフェレーシスナース（日本輸血・細胞治療学会）がいる場合、

その人数は何人でしょうか。

① ０人

② １人

③ ２人

④ ３人

⑤ ４人以上

（16）学会認定・アフェレーシスナースは、どこまでアフェレーシスに関与していますか。

複数回答可。

① 回路への接続を含めた一般的な介助

② アフェレーシス中のバイタルサインの確認を含めた看護

③ 回路の組み立て

④ 機械の設定入力、操作

⑤ ①～④すべて

（17）学会認定・アフェレーシスナースがいる施設へお尋ねします。

アフェレーシスナースは、看護師への輸血教育に携わっていますか。複数回答可。

　　① 新人看護師の輸血教育

　　② 職員全体への輸血教育

　　③ 勤務する職場内での輸血教育

　　④ 看護学部（学科）での卒前輸血教育

　　⑤ 携わっていない

　　⑥ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（18）学会認定・アフェレーシスナースがいない施設へお尋ねします。

アフェレーシスナース制度を受験しなかった理由は何ですか。複数回答可。

① 候補者がいない

② 申請手続が煩雑

③ 受験費用が高額

④ 内容を熟知していなかった

⑤ 受験する意義が乏しい

⑥ 受験するインセンティブが乏しい

⑦ 資格を持つことにより仕事が増える

⑧ 資格を持つことにより仕事の専任化がいや

⑨ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（19）これまでに個別に質問した学会認定看護師の認定状況について、以下の図にまとめて下さい。

名

名

名

名

名

名

名

自己血輸血看護師　　　アフェレーシスナース

輸血看護師

5. 輸血専任技師以外の臨床検査技師に限定した卒後教育についての質問です。

A: 新規採用臨床検査技師に対する卒後教育についてお尋ねします。

1. 卒後教育を行っていますか。

① 行っている

② 行っていない（行っていない理由を記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 誰がその卒後教育を行っていますか。複数回答可。

① 医師

② 臨床検査技師

③ 薬剤師

④ 看護師

⑤ その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. どのような方法で行っていますか。

① 講義；教科書や参考図書、院内輸血マニュアル等を用いて

② 実技；手技（技術的操作）の伝授

③ 講義＋実技

④ その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 実技教育を行っている場合、どのような方法で行っていますか。複数回答可。

① 自動輸血検査装置を使用

② 用手法（マニュアル法）

③ その他（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 新規採用技師への輸血教育の目的はどれですか。複数回答可。

① 日・当直等で、たまに回ってくる輸血業務を円滑に行うため（知識や技術維持のため）

② 自らのスキルアップのため

③ ライセンス取得の基礎固めとして

④ その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（６）目的は、達成していると思いますか。

　　① 達成している。

　　② 達成していない。

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

B:　日・当直業務などで、2~3年以上輸血検査に携わっている技師に対する輸血教育について

お尋ねします。

1. 卒後教育を継続して行っていますか。

① 行っている

② 行っていない（行っていない理由を記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 誰がその卒後教育を行っていますか。複数回答可。

① 医師

② 臨床検査技師

③ 薬剤師

④ 看護師

⑤ その他（自由に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. どのような方法で行っていますか。

① 講義；教科書や参考図書、院内マニュアル等を用いて

② 実技；手技（技術的操作）の伝授

③ 講義＋実技

④ その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 実技教育を行っている場合、どのような方法で行っていますか。複数回答可。

① 自動輸血検査装置を使用

② 用手法（マニュアル法）

③ その他

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 輸血専任技師以外の臨床検査技師への輸血教育の目的はどれですか。複数回答可。

① 日・当直等で、たまに回ってくる輸血業務を円滑に行うため（知識や技術維持のため）

② 自らのスキルアップのため

③ ライセンス取得の基礎固めとして

④ その他

（６）目的は、達成していると思いますか。

　　① 達成している。

　　② 達成していない。

（具体的に記載して下さい　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）